ペットボトル商品への再生耐熱PET樹脂100% 導入による、「完全循環型リサイクル」の実現

2017年3月1日 味の素ゼネラルフーヅ株式会社

いつでも、ふう。AGF

設立:1973年

資本金:38億6千万円

(味の素(株)100%)

売上高:1,018億円(2016年3月決算)

事業内容:インスタントコーヒー

スティックコーヒー

レギュラーコーヒー

ペットボトルコーヒー

チルドコーヒー

クリーミングパウダー

コーヒーギフト,業務用製品

その他飲料(お茶など)

従業員数:1,132名 グループ会社を含む

(2016年4月1日現在)

中国支店 九州支社── 支社支店 10 営業所 7 工場 2 研究所 1

- 本社

名古屋支社

東京支社 広域支社

開発研究所

関東支店

四国支店 大阪支社 AGF鈴鹿㈱

北陸支店















インスタントコーヒー



いつでも、ふう。





marim





コーヒーギフト



調味料&食用油 ギフト



チルドカップコーヒー



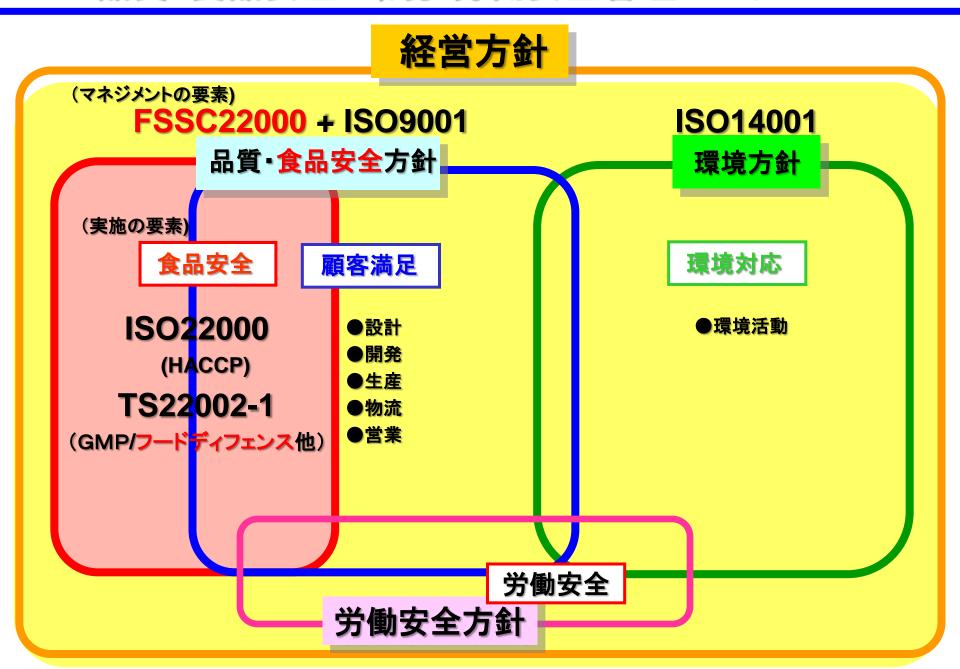
コーヒーオリゴ糖 (コーヒー素材)



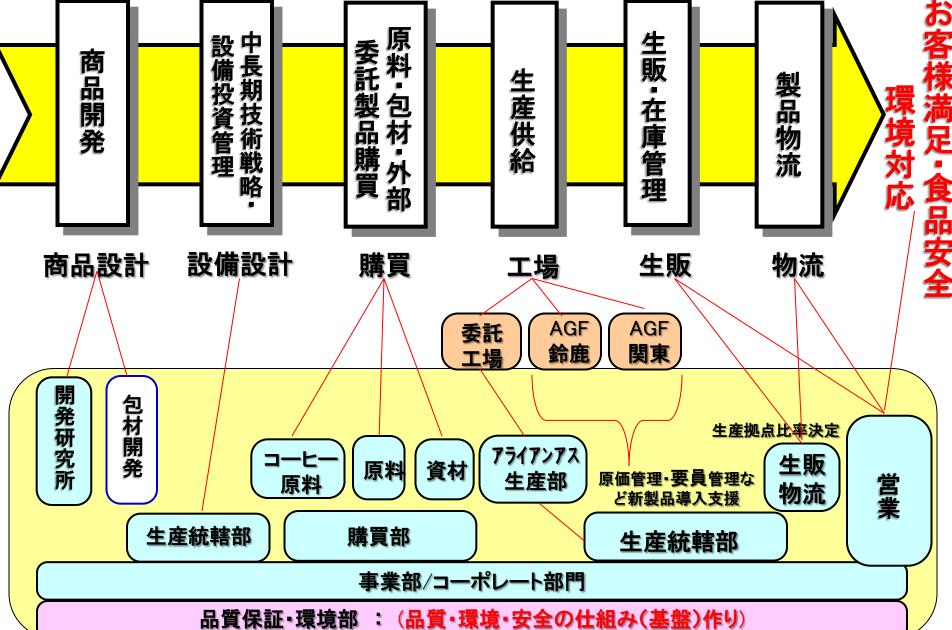


(国際規格ISO26000)

| | | | : 品質・環境・安全マネジメントシステム対象範囲 | | |
|-------------------------|---|------------------|---------------------------------|--|--|
| CSRガイドライン【国際規格ISO26000】 | | | | | |
| 規格 (除:6.1 一般) | 実践課題 ⇒ 取組み項目 | | AGF品質・環境・安全取組み | 味の素グループ行動規範 | |
| 6.2 組織統治 | | 强質/環 境/安全 | 品質・環境・安全マネジメントシステム | 「味の素グループ行動規範」実践 | |
| 6.3 人権 | ①労働における基本的原則と権利 | コンプライアンス委員会 | | 4. 人権の取組み | |
| 6.4 労働慣行 | ①雇用および雇用関係 | 人事 | | | |
| | ②労働における安全衛生 | 安全 | 労働安全 | 5. 従業員の人材育成と安全確保 | |
| | ③職場における人材育成及び訓練 | 品質/環境/安全 | 基盤(仕組み)構築 | | |
| 6.5 環境 | ①汚染の予防 | 環境 | 環境リスク物質低減 | 2. 地球環境とサステナビリティ(持続 可能性)への貢献 | |
| | ②持続可能な資源の使用 | 環境 | 資源の有効活用(使用資源の低減/ リサイクル) | | |
| | ③気候変動の緩和と適応 | 環境 | CO2低減/環境リスク物質低減 | | |
| | ④環境保護、生物多様性、自然生息地の回復 | 環境 | 環境保護活動 | | |
| 6.6 事業慣行 | ①汚職防止 | コンプライアンス委員会 人事研修 | | 9. 公私のけじめ | |
| | ②公正な競争 | | | 3. 公正で透明な取引 | |
| | ③財産権の尊重 | | | 8. 会社資産・情報の保護・管理 | |
| 6.7 消費者課題 | ①お客様の安全衛生の保護 | 品質 | 安全な商品の提供(規格外商品=0化) | 1. 安全性の高い高品質な商品・サービス の提供 (2. 地球環境とサステナビリティ(持続 可能性)への貢献) | |
| | ②持続可能な消費 | 品質 環境 | 社会的・環境的に有益な(持続性を 考慮した)商品の提供 | | |
| | ③公正なマーケティング、情報および契約 慣行 | 品質 環境 | お客様への十分な情報提供 (虚偽/隠蔽の防止) | り形注/~0/貝服/ | |
| | ④お客様サービス、支援、苦情および紛争 解決 | 品質 | 商品販売後のサービス、ご指摘対応 | | |
| | ⑤知識と認識向上(対お客様/PR) | 品質 環境 | 消費者の教育/意識向上 | | |
| 6.8 コミュニティ参画 および開発 | ①コミュニティ参画(地域、お客様との協調 関係強化/PR) | 品質 | 地域、コミュニティへの貢献/協調関係 強化 | 6. コミュニティとともに 7. 株主・投資家をはじめとしたステーク ホルダーへの責任 | |
| | ②技術開発と技術へのアクセス (社会発展/お客様のための技術開発) | | 技術開発/商品開発による社会貢献 | | |
| | ③富と所得の創出(付加価値の分配) | 環境 | | | |
| | ④健康(お客様の健康衛生水準の向上に 貢献) | | お客様の健康に貢献出来る商品の開発 | | |







お客様にとっての3R

AGFグループの3Rの取り組み

100%再生ペットボトル 導入



ゴミを減らす

リデュース Reduce

く省ゴミ>

ゴミの量が減る

<軽薄短小>

- スティックのコンパクト化 (バウチ・箱サイズ縮小)
- スティック包装の薄肉化
- ドリップパックの袋の薄肉化
- ・ボトルコーヒーのラベルの薄肉化

易剥離 ラベル



資源として 再び利用する

3R

リサイクル Recycle

繰り返し使う

詰め替え用の

インスタントコーヒー初 インスタントコーヒー

リユース Reuse







エコマーク取得

<分別促進>

ラベル

Wミシン目入り

分別しやすい

<資源循環>

- 100%再生ペットボトル導入
- ボトル・ビンではがしやすいラベルを採用

<再利用>

あきビンを繰り返し使う

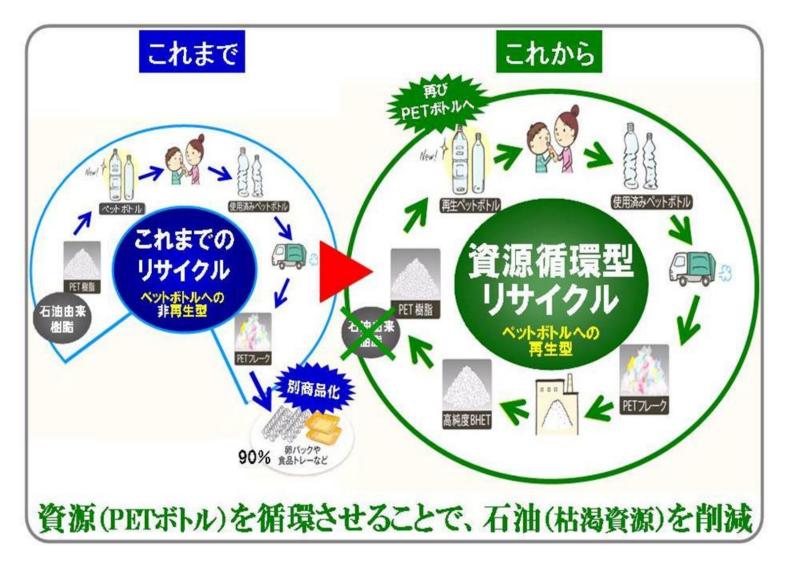
<再利用促進>

詰め替えやすい袋商品の提案

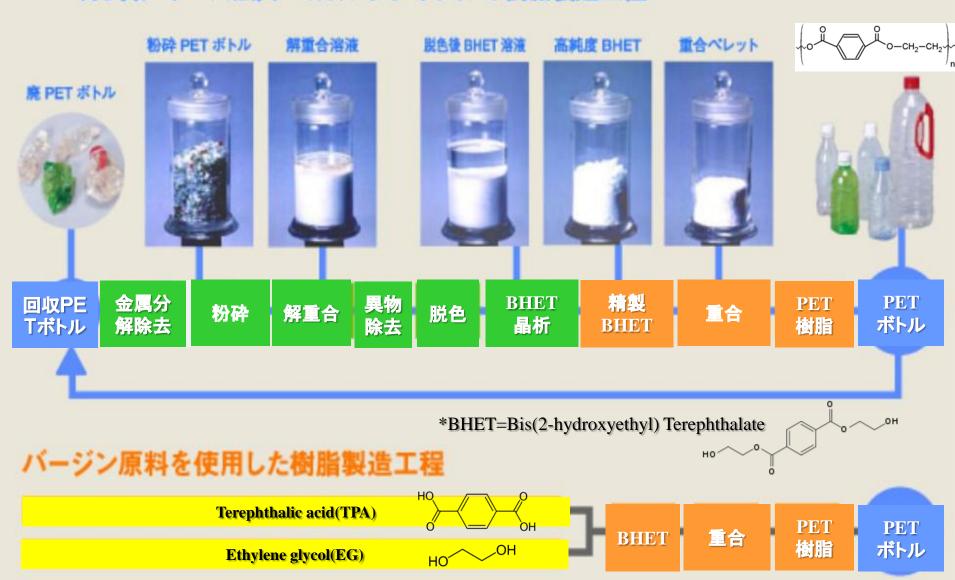
2012年; PET Bottle to PET Bottle = 50%+PET50%

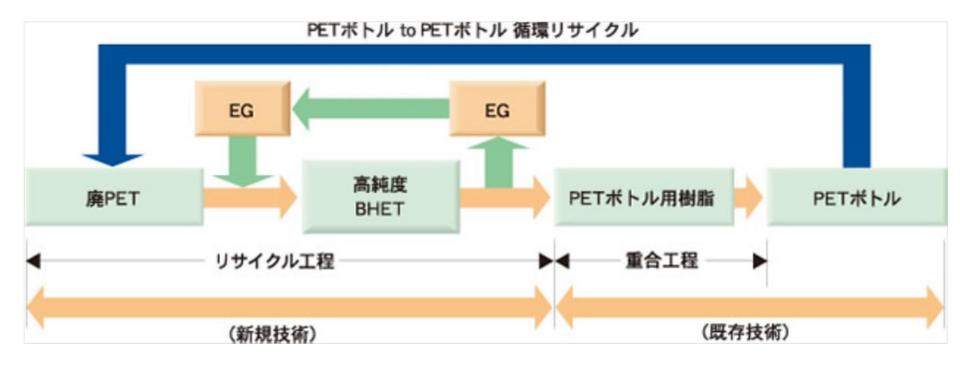
2016年; Bottle to PET Bottle = 100%





PRT方式(アイエス法)ケミカルリサイクルの樹脂製造工程





いつでも、ふう。 AGF